



ハハもり通信

No. 13



小笠原村環境課 04998-2-2270

昆虫観察会

(2025年11月30日)

母島はグリーンアノール等の影響でオガサワラシジミも見られなくなり、虫もいなくなっているのでは…なんて思われていますが、実は結構いるんです。そんな母島の虫事情を知ってもらうために昆虫観察会を開催しました。場所はいつものハハもりとその近くにある鮫ヶ崎遊歩道沿いです。参加者・スタッフ計22名で行いました。



トラップの袋にはガの仲間のオガサワラチズモンアオシヤク、ハスモンヨトウ、ギンネムエダシヤクが入っていたほか、袋に入れた落ち葉には、ネッタヒョウタンナガカメムシやワラジムシの一種などがいました。みんな見つけられたかな？



ハハもり内で虫探しと観察

イベント前日、夜の光に集まる虫の習性を利用したライトトラップをフルーツロードのスターフルーツ、シャシャップ、シークワサー、パキラ、アカギの下に設置し、翌朝のイベント直前に回収しておきました。



遊歩道へ歩いて移動後、講師の自然研による虫レクチャー

遊歩道でも虫探しと観察をしてみると、フタツメケシカミキリやアシナガサシガメの一種、ホソワラジムシなど、ハハもりとは違った虫もいました。



虫 LOVEな皆さん

東京農業大学ボランティア部による作業

オガグワの移植予定地の伐開をしてくれました。

(2026年2月15日)



2026年秋に移植予定です。

同じ場所と思えないほど激変！